

# 森のコンポスト/東京 土置き型 組み立て方&使い方マニュアル



森のコンポスト/東京を、あなたの家に迎えてくださって  
ありがとうございます！

これからご使用までに、塗装したり、組み立てたり、土を  
いれたり、いくつかの作業があります。

大変そうに見えますが、やってみると意外に簡単。

作っているうちにだんだん愛着がわいてきて、

あなたの家ならではの森のコンポストになっていきます。

好きな色に塗ったり、絵を描いたりなど、楽しみながら完  
成させて、コンポストのある暮らしを始めてください。

森のコンポストには、塗装サービス（有料）もございます。

コンポストフレンズのオンラインショップで「塗装サービス」をご購入ください。

（コンポスト本体のご購入と同時購入のみとなります。）

# STEP 1 塗装しましょう

## 【用意するもの】

**塗料：屋外用水性木材保護塗料（防腐・防虫・防カビ効果のあるもの）**

水性塗料は、塗りやすく、臭いがほとんどないので扱いやすいです。  
ホームセンターに行くといろいろな種類のものがあります。  
もし、迷ってしまったら…

＊水性クレオトップ（吉田製油所）～比較的安価

＊水性キシラデコールエクステリア（大阪ガスケミカル）～カラー豊富  
などがお勧め。

キエーロ1個の表面積3～4平米が塗れる量の缶を選びましょう。  
（塗料によって違いますが、だいたい0.7ℓ缶で塗れます。）

<ポイント>

★水性塗料は木に浸透して被膜を作らず、剥がれ落ちる心配がありません。

★色が透明（クリア）なタイプは、塗装後もほとんど塗装前と見た目が  
変わらないため、塗りむらが見えません。

「塗装が初めてで自信がない・・・」方におススメです・

**道具：刷毛**

**手袋**

**塗料をいれる容器（ヨーグルトや豆腐の空き容器でOK）**

**下に敷くもの（シート、ビニール、新聞紙など）**

①木のパーツを並べ、1回目の塗装をする。

※ふたの枠にポリカーボネート板がついていますが、いったん、外して、塗装・乾燥後に付け直してください。（仮止め状態で軽くつけてあります。）

②塗料缶の説明にある乾燥時間を置く。

③2回目の塗装をして、乾かすとできあがり。

※塗料によっては一度塗りでOKなものもあります。

## STEP 2 組み立てましょう

用意するもの：プラスドライバー  
又は電動ドライバー

同梱材料  
ジョイントボルト 8本   
丁番用ビス 6本 

①背面・右側面・左側面を、内側になる方を上にして並べる。



\*背面は大きなパーツのうち、背が高い方です。  
\*側面は金網がついているパーツです。



②側面と背面を立て、側面側から上下2か所をボルトで留める。



\*写真は電動ドライバーですが、プラスドライバーでも、簡単に止められます。



③両側面を止めたら、同様に前面をたてて、両側面側から上下2か所をボルトで留める。



④ふたを上へのせ、丁番を本体にビスで留めて、出来上がりです。



\*下穴の位置にあわせませす。



\*丁番一個につき、3か所ずつ留めます。

\*この工程は、少し力が必要。

もし、電動ドライバーがあれば、お使いください。

出来上がり！



土置き型は、土の上に直接置いて、中に土を入れます。

### <中にいれる土>

園芸用の「黒土」をいれてください。（ホームセンターや通販で購入できます。）

量は120～150ℓ程度です。

※黒土の代わりに植木剪定材で作った堆肥（臭いません）でも、うまく行きます。

自治体等で無料提供もしくは安く販売しているところもあるので、探してみてください。

### ★あおり止め（セットに同梱しています）



高台や屋上などに置いている場合、風が非常に強い日は、ふたがあおられてバタバタすることがあります。そこで「あおり止め」用の金具を同梱しておりますので、必要に応じて取り付けてください。下の画像を参考に、ふたの枠の下側と本体に、キリで下穴をあけていただき、手でねじ込んでつけてください。



# STEP 3 使ってみましょう

森のコンポスト/東京は、「キエーロ」という種類のコンポストです。  
キエーロの使い方は簡単！ ぜひ、楽しみながら生ごみを分解してみてください。

①土をいくつかの区画にわけ、順番に使う。



②一区画に穴を掘り、生ごみを投入。



③生ごみと土をよく混ぜる



④生ごみが見えなくなるまで  
しっかり土をかぶせる。



## <ポイント>

★キエーロで一番大事なことは、「土の表面に乾いた土がかぶさっていて生ごみが見えない状態」をキープすることです。一巡して戻ってきた時は、穴を掘る前に、まず表面の乾いた土をよけておき、最後にその土をかぶせるようにします。使い続けるうちに、卵の殻や玉ねぎの外皮など、分解しにくく乾燥した状態のものが土に混ざってきますが、それは土の一部とみなして大丈夫。湿った状態の生ごみが表面に見えてなければOKです！